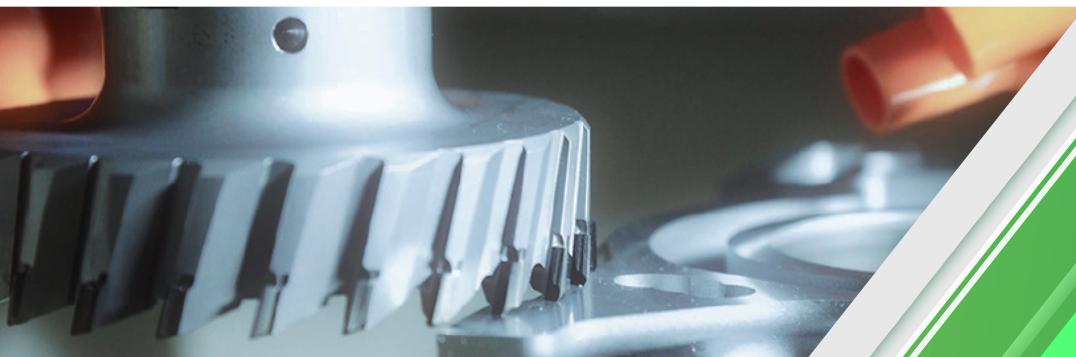


KANEFUS A

第71期 株主・投資家の皆様へ

中間報告書

平成30年4月1日～平成30年9月30日



兼房株式会社

証券コード 5984



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社第71期上半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）における営業の概況ならびに決算の内容等につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

代表取締役 社長執行役員

渡邊 将人

営業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州や中国などに鈍化傾向が見られますが、米国経済は減税などの財政政策により好調さを維持しており、新興国についても、米国の利上げにより一部の国で通貨下落など金融市場での動揺が見られたものの、アジアを中心に全体としては拡大基調が続きました。わが国経済も、自然災害による下押し要因は懸念されるものの、企業収益と家計所得の改善が設備投資や個人消費といった内需の好循環に結びつき、総じて緩やかな景気拡大基調が維持されています。しかしながら、米国の保護主義的な通商政策はエスカレートし、中国との貿易摩擦のみならず、日欧への自動車関連の追加関税など先進国との間でも通商問題が激化する懸念があり、世界経済の先行き不透明感を深めて

いる状況です。このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。

売上高

国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加となりました。一方、海外での売上も全地域で増収となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は101億2千6百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

利益

利益面につきましては、生産性向

上など売上原価率が改善したことなどから、営業利益は11億3千8百万円（前年同期比37.0%増）となり、営業外収益で為替差益6千4百万円を計上したことなどから、経常利益は12億1百万円（前年同期比40.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億4千9百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

通期の見通し

通期の連結業績予想につきましては、連結売上高198億円、営業利益20億1千万円、経常利益20億円、親会社株主に帰属する当期純利益13億7千万円を見込んでおります。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

科目	期別	当第2四半期末	前期末
		平成30年9月30日現在	平成30年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産		14,988,816	14,878,605
固定資産		13,753,232	12,911,500
資産合計		28,742,048	27,790,105
(負債の部)			
流動負債		4,743,249	4,102,225
固定負債		682,687	691,361
負債合計		5,425,936	4,793,586
(純資産の部)			
株主資本		22,540,068	21,899,327
その他の包括利益累計額		776,043	1,097,191
純資産合計		23,316,111	22,996,519
負債純資産合計		28,742,048	27,790,105

総資産

総資産は、前期末比9億5千1百万円増加して287億4千2百万円となりました。流動資産は原材料及び貯蔵品などが増加し、前期末比1億1千万円増加の149億8千8百万円となりました。固定資産は無形固定資産などが増加し、前期末比8億4千1百万円増加の137億5千3百万円となりました。

負債

負債は、その他の流動負債が増加したことなどにより、前期末比6億3千2百万円増加の54億2千5百万円となりました。

純資産

純資産は、利益剰余金が前期末比6億4千万円増加し、その他の包括利益累計額が前期末比3億2千1百万円減少したことにより、前期末比3億1千9百万円増加の233億1千6百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の82.8%から81.1%となりました。

連結損益計算書(要旨)

単位:千円

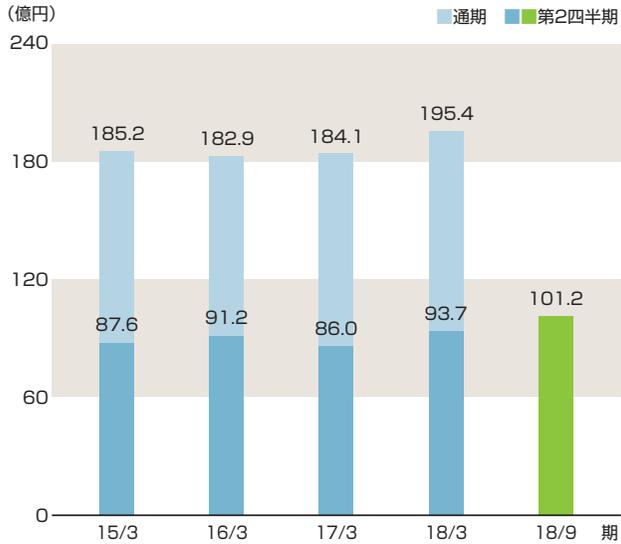
科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高		10,126,361	9,375,180
売上原価		6,611,609	6,233,841
売上総利益		3,514,751	3,141,338
販売費及び一般管理費		2,376,109	2,310,104
営業利益		1,138,642	831,234
営業外収益		95,209	50,691
営業外費用		32,291	28,001
経常利益		1,201,560	853,924
特別利益		2,811	436
特別損失		5,552	1,952
税金等調整前四半期純利益		1,198,819	852,408
法人税等		349,574	249,565
四半期純利益		849,244	602,842
親会社株主に帰属する四半期純利益		849,244	602,842

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

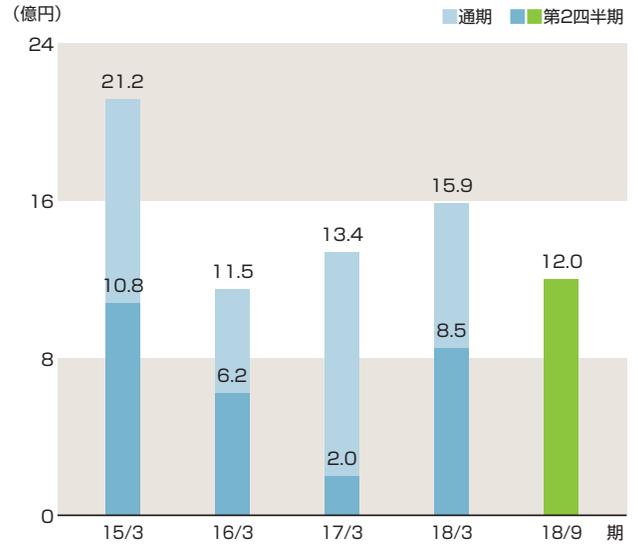
単位:千円

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,477,482	1,675,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,099,129	△597,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		△209,111	△174,362
現金及び現金同等物に係る換算差額		△45,689	△30,719
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		123,551	873,590
現金及び現金同等物の期首残高		4,892,014	3,556,319
現金及び現金同等物の四半期末残高		5,015,565	4,429,909

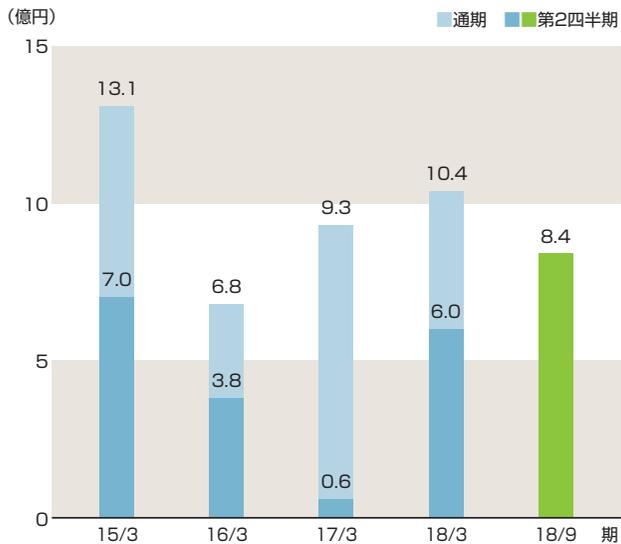
■売上高



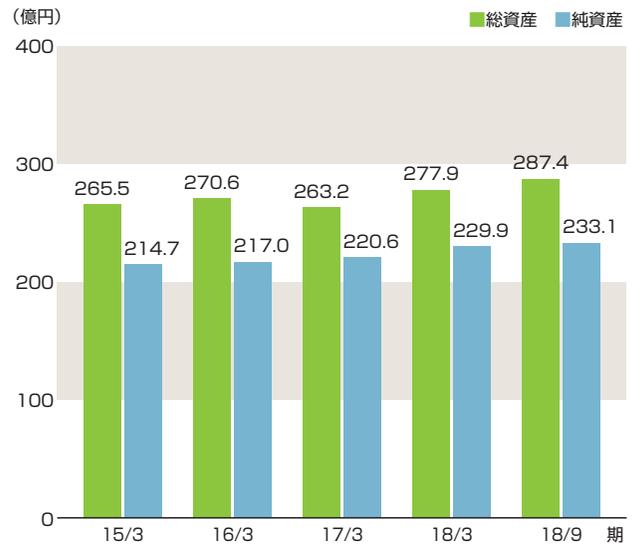
■経常利益



■親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



■総資産・純資産



TOPICS

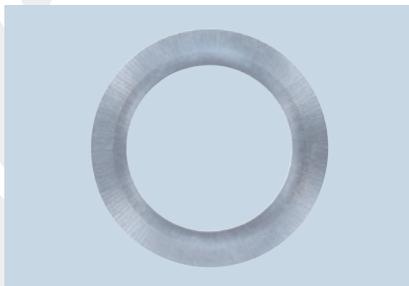
IWF展 2018年8月22日～25日

2年に一度開催される北米最大の木材加工展IWF(International Woodworking Fair)2018が、アメリカのジョージア州アトランタ市で8月22日から25日の4日間開催され、当社も出展しました。今回は、好調なアメリカ経済を背景に展示ホールを従来の2ホールから3ホールに拡張するなど、大変盛況な展示会となりました。当社はチップソーを中心とした木材加工用刃物を展示し、技術力をアピールしました。

今後もこのような展示会出展を通して「カネフサブブランド」を世界に広めていきます。



NEW ゲーベルスリッターナイフ



独自の表面改質により、切断品質・耐久性が向上

【用途】紙、フィルム、金属箔(アルミホイル等)などの切断加工用

【特徴】①紙粉の発生を抑制

②切断面の毛羽立ちが減少し、安定した加工が可能

【紙の切断面(毛羽立ち)】



従来品



新製品

Information

会社概要 (平成30年9月30日現在)

商号	兼房株式会社 KANEFUSA CORPORATION	
設立	昭和23年11月25日	
資本金	21億4,250万円	
本社所在地	愛知県丹羽郡大口町中小口一丁目1番地	
従業員数	732名	
主要な事業内容	工業用機械刃物・工具・工作機械・機械部品の製造販売。 ならびに、関連する事業に対する投融資及び技術供与。	
主要な事業所	本社・工場	愛知県丹羽郡大口町 支社 中部 関東 関西 営業所 札幌 仙台 広島 高松 福岡
子会社	PT.カネフサインドネシア カネフサヨーロッパB.V. カネフサインディア Pvt.Ltd. カネフサメキシコ S.A. DE C.V. カネフサベトナムマニュファクチャリングCO.,LTD.	カネフサUSA,INC. 昆山兼房高科技刀具有限公司 カネフサド ブラジル LTDA. カネフサベトナムCO.,LTD. 大口サービス株式会社

役員 (平成30年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	渡邊 将人	取締役 (監査等委員)	高須 甚吉
取締役 専務執行役員	太田 正志	社外取締役 (監査等委員)	辻中 修
取締役 常務執行役員	鈴木 仁	社外取締役 (監査等委員)	小池 徹
取締役 常務執行役員	春日 晃		
取締役 常務執行役員	萬谷 哲朗		

株式の状況 (平成30年9月30日現在)

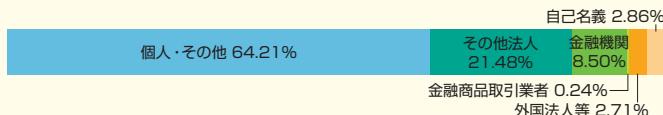
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	14,310,000株
株主数	1,942名

■大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大口興産株式会社	2,299	16.5
渡邊 裕子	1,278	9.1
太田 万佐子	1,239	8.9
兼房従業員持株会	740	5.3
渡邊 浩	693	4.9
渡邊 美奈子	649	4.6
渡邊 将人	426	3.0
太田 正志	403	2.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	385	2.7
株式会社りそな銀行	200	1.4

(注) 持株比率は自己株式 (409千株) を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
株主確定基準日 (1) 定時株主総会・期末配当 3月31日
(2) 中間配当を実施する場合 9月30日
(3) その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を設定いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

お問合せ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
〈電話〉0120-232-711 (通話料無料)
〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.kanefusa.co.jp/koukoku.html>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行株式会社が口座管理機関となっておりますので、以下記載の特別口座の口座管理機関に、お問合せください。

特別口座の口座管理機関 日本証券代行株式会社
連絡先 〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843(通話料無料)

【株式に関する「マイナンバー制度」のご案内】
市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

兼房株式会社

